別添

規則等の名称	処分基準（生活安全編）
根拠法令	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）
趣旨	民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）の施行等に伴い、本県公安委員会が定める行政手続法に基づく処分基準の改定を行った。
概要	<p>民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）により、成人となる年齢が20歳から18歳に引き下げられたこと等から、次のとおり処分基準の一部について改定を行った。</p> <p>1 処分基準の改定の概要</p> <p>処分基準の改定（22件）</p> <p>風俗営業の許可の取消し、停止命令等、22件の「処分基準」について、取消し又は営業停止命令の量定を定めた別紙2の別表中「未成年者」を「二十歳未満の者」に、</p> <p>「未成年者飲酒禁止法」を「二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律」</p> <p>に、</p> <p>「未成年者喫煙禁止法」を「二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律」</p> <p>に改めるなど、所要の改正を行った。</p>
施行日	令和4年4月1日
県民意見等を募集しなかった理由	民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）により、成人となる年齢が20歳から18歳に引き下げられたこと等に伴うもので、全国の警察において一律の運用を図る必要があるところ、警察庁から示された審査基準及び処分基準に沿う内容での策定としており、県民意見の募集を行っても、その意見を反映させる余地は極めて少なく、募集を行う意味が乏しいため。
その他参考事項	